

あったら便利！持ち物リスト

「あれば助かる。ないと困る」を集めました。非常用持ち出し袋や、家庭での備蓄を準備する際の参考にしてください。



ふえ

キーケースにLEDライトと一緒につけておくと便利。

モバイルバッテリー

便利なスマートフォンだが、バッテリー不足は死活問題。

食品包装用ラップ

食器に敷いたり、包帯代わりに使ったり…。

調味料各一式

同じ食べ物でも味付けが変わると飽きずに食べられる。

水

大人1日3Lを目安に用意。



リップクリーム

乾燥した場所に塗ったり、傷口に塗ったりできる。



非常食

加熱せず食べられるもの。レトルト、缶詰、お菓子など。



ウェットティッシュ

除菌ができるもの。ノンアルコールのものもあればなおよし。



使い捨て手袋

調理を行う時、掃除をする時など、衛生状態を配慮。



歯ブラシ・ガム

歯磨きできない時はガムですっきり。

自分の「命」を守ること 自分の「家」を守ること

遠くの地で起こっている大地震を、自分の身には関係ないことだと楽観視していませんか？起こることは分かっている、具体的に現実的な備えはできていますか？

大地震は必ず有田川町を襲います。そしてそれは明日かもしれない。人任せの心づもりでは、自分や家族の命を救えません。

「地震がきたら死んでもかまわん」と考えている方はいるでしょう。例えば倒壊した家の下敷きになったとしたら、そんなあなたを地域の人たちは危険をかえりみず、必死で助けようとします。

「家くらい、倒壊してもかまわん」と考えている方もいるでしょう。大地震が発生するとき、たまたま学校帰りの

子どもたちがあなたの家の横を歩いているかもしれない。その状況で、あなたの家が倒壊したら…。家屋の倒壊は、あなただけでなく、周囲の人を巻き込む恐れもあります。

命を失うことは人を悲しませ、人のつながりを変えます。家を失うことは、たくさんの労力・時間・お金をかけることになります。

いつか必ず有田川町を襲う大地震へ向けての、大きく確実な一歩は、あなたの意識が変わること。一人一人の備えと意識の変化がたくさんの人を救います。

—「その時」は必ず来る—

あなたも防災に係わる担い手に
地域防災リーダー育成講座

「紀の国防災人づくり塾」

地域や企業の中で、防災の中心的な担い手となる「地域防災リーダー」を育成する講座を開講します。修了者には「防災士資格取得試験」の受験資格を付与。最終日には希望者に防災士資格取得試験を実施します。

- 開催日時／10月30日(日)・11月13日(日)・12月11日(日)・1月29日(日) いずれも9時～17時 ※計3日間＋防災士試験1日
- 開催場所／きびドーム ※岩出市・田辺市会場もあり
- 対象／県内在住・在勤・在学の16歳以上で全講座出席可能な方
- 募集期間／9月1日(木)～9月23日(金) ※先着順
- 申し込み・問い合わせ／和歌山県防災企画課 ☎073-441-2271 有田川町総務課